

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成22年11月4日(2010.11.4)

【公開番号】特開2009-303446(P2009-303446A)

【公開日】平成21年12月24日(2009.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2009-051

【出願番号】特願2008-157708(P2008-157708)

【国際特許分類】

H 02 K 1/22 (2006.01)

H 02 K 21/14 (2006.01)

H 02 K 15/02 (2006.01)

【F I】

H 02 K 1/22 A

H 02 K 21/14 M

H 02 K 15/02 K

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月15日(2010.9.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

磁性板材で形成されたロータコアと、該ロータコアの外周部に配された永久磁石とを備え、軸線回りに回転可能に支持されたロータ部と、

該ロータ部を囲繞するように対向配置されたステータ部と、を備えた永久磁石電動機において、

前記ロータコアの内周部に磁極数と同数の複数の肉抜孔が形成され、

該複数の肉抜孔によって、前記ロータコアの内外が複数のリブによって連結され、

前記リブの外側端部が、隣接する異なる極性の永久磁石間における前記ロータコアの径方向内側に配置され、

前記リブの内側端部が、前記隣接する永久磁石のいずれか一方が配された位置における前記ロータコアの径方向内側に配置されていることを特徴とする永久磁石電動機。

【請求項2】

前記リブの傾斜方向が、該リブの外側端部から内側端部に向かって最大トルク時に最大応力発生箇所の応力が圧縮側となる方向に傾斜するように構成されていることを特徴とする請求項1に記載の永久磁石電動機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項2に記載した発明は、前記リブの傾斜方向が、該リブの外側端部から内側端部に向かって最大トルク時に最大応力発生箇所の応力が圧縮側となる方向に傾斜するように構成されていることを特徴としている。